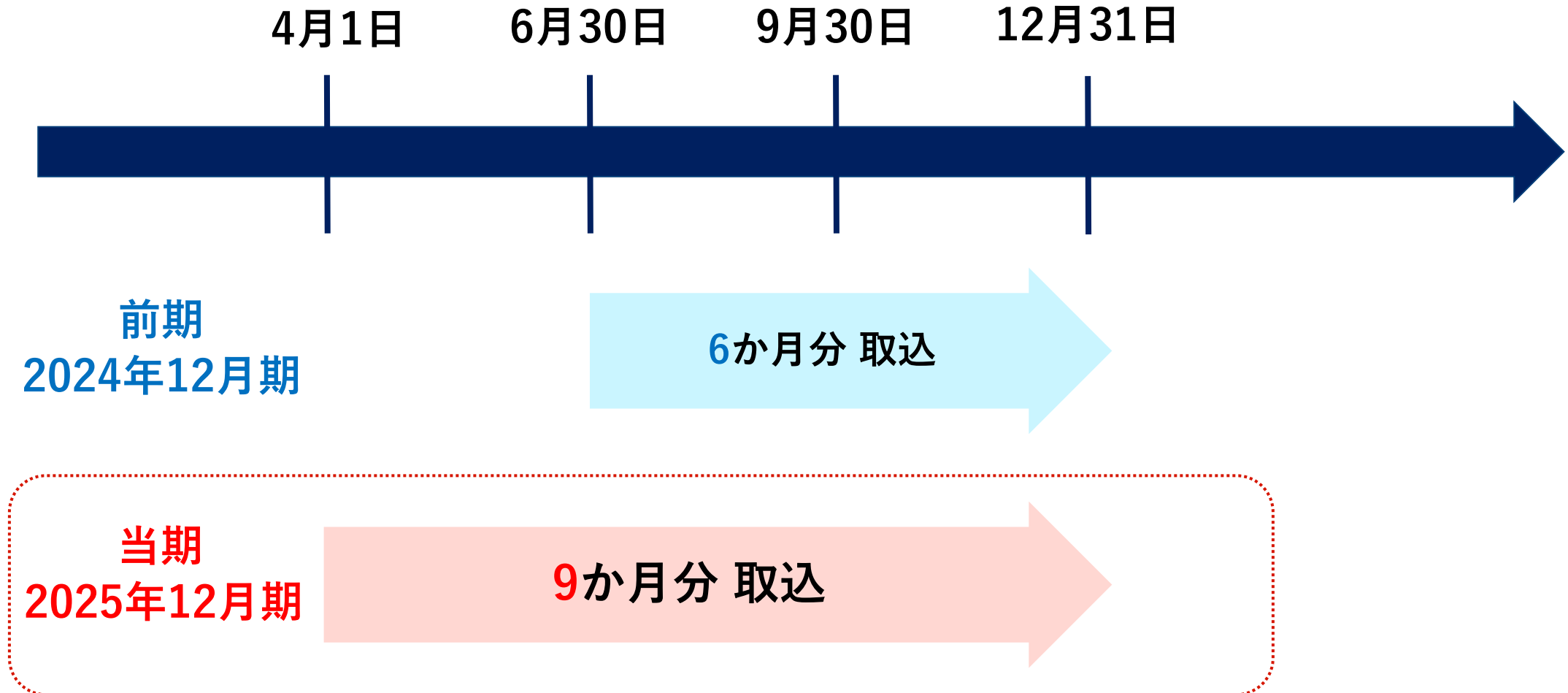


## 2026年3月期 第3四半期 決算概要

# デサイフェラ社の損益取り込み期間

デサイフェラ社の損益取り込みについて、前年同期は6か月分、当年は9か月分を計上しております。



# 2026年3月期 第3四半期 決算概要（コアベース）



**2026年3月期 第3四半期決算は、増収増益の決算となりました。**

## 2026年3月期Q3 売上収益

売上収益は前年同期比225億円（6.0％）増収の3,970億円  
第3四半期決算としては過去最高売上を計上

国内売上：フォシーガは12月に後発品が参入したものの、参入前までは慢性心不全および慢性腎臓病での使用が拡大し増加。一方、オプジーボの売上減少により全体としては減収。  
海外売上：キンロックについては前年同期比113億円増収の286億円、ロンビムザについては54億円の売上計上。オプジーボ等にかかる海外ロイヤルティ収入も引き続き堅調に増加。

## 2026年3月期Q3 コア四半期利益

コア四半期利益は前年同期比135億円（17.6％）増益の900億円

デサイフェラ社の研究開発費および販管費が前年比較で3か月分多く計上されていること等により費用は増加した一方で、それを上回る売上の増加により増益。

## 2026年3月期 通期業績予想

2026年3月期は前期比で増収増益を見込む

フォシーガ錠の後発品参入による売上減少が見込まれるものの、キンロック、ロンビムザ、海外ロイヤルティ収入の増加がこれをカバーすることで、増収増益の決算を見込む。



売上収益  
3,970億円

前年同期比  
225億円増収  
(+6.0%)



製品商品売上 2,679億円

前年同期比 110億円増収  
(+4.3%)



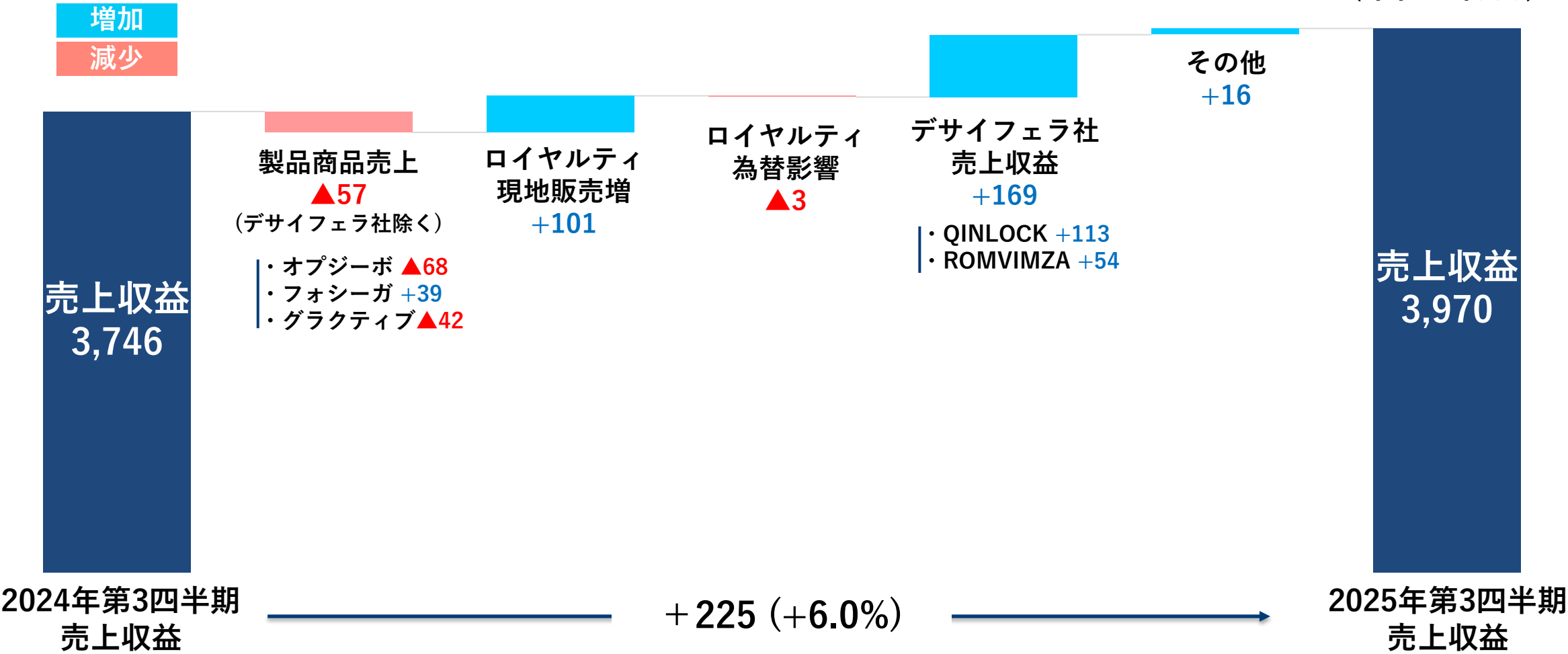
ロイヤルティ・その他 1,292億円

前年同期比 115億円増収  
(+9.7%)

# 2026年3月期 第3四半期 売上収益の内訳

オプジーボの競争激化等により減少した一方、オプジーボ等に係るロイヤルティ収入の増加、  
デサイフェラ社による売上収益計上等により全体で前年同期比225億円の売上増収。

(単位：億円)



# 2026年3月期 第3四半期 製品商品売上(国内)



(単位：億円)	2025年3月期 Q3実績	2026年3月期 Q3実績	前年同期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益合計	3,746	<u>3,970</u>	225	6.0%	4,900
製品商品売上	2,569	<u>2,679</u>	110	4.3%	3,300
ロイヤルティ・その他	1,177	<u>1,292</u>	115	9.7%	1,600

内訳 製品商品売上（国内）	2025年3月期 Q3実績	2026年3月期 Q3実績	前年同期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
オプジーボ点滴静注	960	<u>892</u>	▲68	▲7.1%	1,200
フォシーガ錠	687	<u>727</u>	39	5.7%	800
オレンシア皮下注	208	<u>210</u>	2	1.0%	280
グラクティブ錠	147	<u>104</u>	▲42	▲28.9%	120
ベレキシブル錠	82	<u>92</u>	10	12.3%	110
オンジェンティス錠	60	<u>69</u>	10	16.6%	90
パーサビブ静注透析用	66	<u>69</u>	3	5.1%	90
カイプロリス点滴静注用	69	<u>60</u>	▲9	▲12.9%	90

\* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

・国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。また、海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

# 2026年3月期 第3四半期 製品商品売上/海外/ロイヤルティ



(単位：億円)	2025年3月期 Q3実績	2026年3月期 Q3実績	前年同期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益合計	3,746	<u>3,970</u>	225	6.0%	4,900
製品商品売上	2,569	<u>2,679</u>	110	4.3%	3,300
ロイヤルティ・その他	1,177	<u>1,292</u>	115	9.7%	1,600

内訳 製品商品売上（海外）	2025年3月期 Q3実績	2026年3月期 Q3実績	前年同期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
オプジーボ	100	<u>108</u>	8	7.8%	135
キンロック	173	<u>286</u>	113	65.1%	360
ロンビムザ	—	<u>54</u>	—	—	80

内訳 ロイヤルティ・その他	2025年3月期 Q3実績	2026年3月期 Q3実績	前年同期比		
			増減額	増減率	
オプジーボ	863	<u>925</u>	62	7.2%	
キイトルーダ	194	<u>215</u>	21	10.6%	

\* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

・国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。また、海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。



コア営業利益  
1,163億円

前年同期比  
186億円増益  
(+19.1%)



売上収益 3,970億円  
前年同期比 225億円増収 (+6.0%)



研究開発費 1,046億円  
前年同期比 12億円増加 (+1.1%)

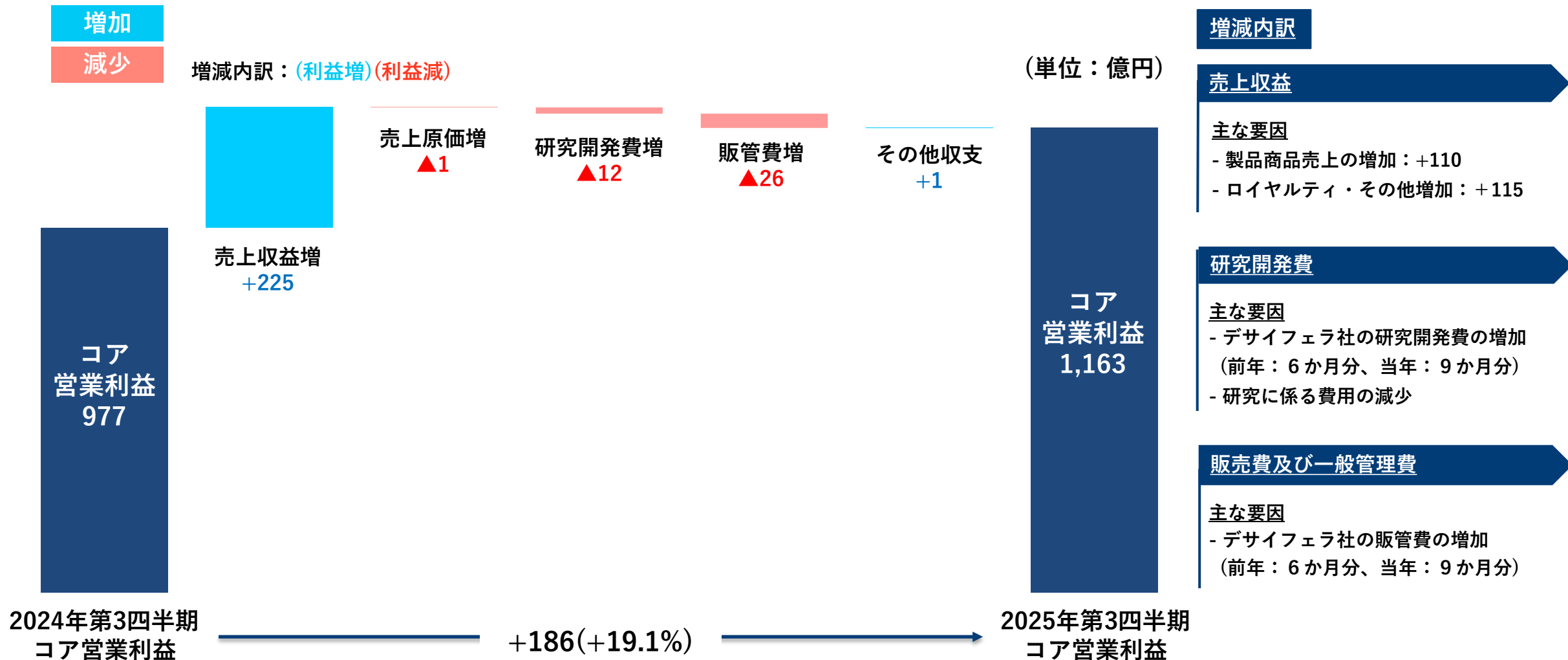


販売費及び一般管理費 928億円  
前年同期比 26億円増加 (+2.9%)



# 2026年3月期 第3四半期 コア営業利益の内訳

デサイフェラ社の研究開発費および販売費及び一般管理費を前年は6か月分、当年は9か月分を計上したことにより費用が増加した一方、売上収益の増加などにより、コア営業利益は前年同期比 186億円増益の1,163億円を計上。



# 2026年3月期 第3四半期 連結コア業績



(単位：億円)	2025年3月期 Q3実績	2026年3月期 Q3実績	前年同期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益	3,746	<u>3,970</u>	225	6.0%	4,900
売上原価	831	<u>832</u>	1	0.1%	1,035
研究開発費	1,034	<u>1,046</u>	12	1.1%	1,500
販売費及び 一般管理費	902	<u>928</u>	26	2.9%	1,200
コア営業利益	977	<u>1,163</u>	186	19.1%	1,140
コア税引前利益	1,000	<u>1,178</u>	178	17.8%	1,140
コア四半期利益 (親会社の所有者帰属分)	765	<u>900</u>	135	17.6%	910

## 増減内訳

売上原価 +1億円 (+0.1%)

売上原価率：21.0%

研究開発費 +12億円 (+1.1%)

研究開発費率：26.3%

### 主な要因

- デサイフェラ社の研究開発費の増加  
(前年：6か月分、当年：9か月分)
- 研究に係る費用の減少

販売費及び一般管理費 +26億円(+2.9%)

### 主な要因

- デサイフェラ社の販管費の増加  
(前年：6か月分、当年：9か月分)

\* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

# (参考) 2026年3月期 第3四半期 (フルベース)



(単位：億円)	2025年3月期 Q3実績	2026年3月期 Q3実績	前年同期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益	3,746	<u>3,970</u>	225	6.0%	4,900
売上原価	1,027	<u>1,087</u>	59	5.8%	1,350
研究開発費	1,071	<u>1,046</u>	▲25	▲2.4%	1,500
販売費及び 一般管理費	937	<u>929</u>	▲8	▲0.9%	1,200
営業利益	708	<u>883</u>	175	24.8%	850
税引前四半期利益	720	<u>894</u>	173	24.1%	850
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	566	<u>689</u>	124	21.8%	670

## 増減内訳

売上原価 +59億円 (+5.8%)

### 主な要因

- 買収により獲得した無形資産に係る償却費

研究開発費 -25億円 (-2.4%)

研究開発費率：26.3%

### 主な要因

- 開発化合物に係る減損計上の反動減

販売費及び一般管理費 -8億円 (-0.9%)

### 主な要因

- デサイフェラ社の販管費の増加  
- デサイフェラ社買収に係る取得関連費用の反動減

\* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

# (参考) 2026年3月期 第3四半期 連結コア調整表

(単位：億円)	IFRS(フル) ベース	コア調整項目				コアベース
		無形資産に 係る償却費	減損損失	その他	Total	
売上収益	3,970				—	3,970
売上原価	1,087	▲190		▲64	▲255	832
売上総利益	2,884	+190	—	+64	+255	3,138
研究開発費	1,046				—	1,046
販売費及び 一般管理費	929			▲1	▲1	928
その他収支 (費用▲)	▲26			▲24	▲24	▲2
営業利益	883	+190	—	+90	+280	1,163
営業利益率	22.2%				—	29.3%
金融収支 (費用▲)	11			+4	+4	15
税引前四半期利益	894	+190	—	+94	+284	1,178
税金費用	205	+49		+24	+74	279
四半期利益	689	+141	—	+70	+210	900

## 増減内訳

### 売上原価

#### 主な要因

- 買収や導入により獲得した無形資産に係る償却費
- PPA在庫に係る償却費

### 研究開発費

#### 調整なし

### 販管費・その他収支

#### 主な要因

- 退職給付制度改定損 +17億円

# 2026年3月期 通期予想（コア/対前期比）

通期の業績につきましては、2025年10月30日に公表した業績予想から変更はありません。

（単位：億円）	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	増減率
売上収益	4,869	<u>4,900</u>	31	0.6%
売上原価	1,069	<u>1,035</u>	▲34	▲3.1%
研究開発費	1,433	<u>1,500</u>	67	4.7%
販売費及び一般管理費	1,222	<u>1,200</u>	▲22	▲1.8%
コア営業利益	1,127	<u>1,140</u>	13	1.2%
コア税引前利益	1,139	<u>1,140</u>	1	0.1%
法人税等	234	<u>230</u>	▲4	▲1.8%
コア当期利益 （親会社の所有者帰属）	904	<u>910</u>	6	0.7%

## 増減内訳

売上原価 -34億円 (-3.1%)

### 主な要因

- 国内製品商品の売上減少

研究開発費 +67億円 (+4.7%)

### 主な要因

- デサイフェラ社に係る費用(9か月から12か月分へ)
- Ionis社から導入したsapablursenに係る費用
- 経費効率化の推進

販売費および一般管理費 -22億円 (-1.8%)

### 主な要因

- デサイフェラ社に係る費用(9か月分から12か月分へ)
- 経費効率化の推進

\* 業績予想における下期の為替レートは、1ドル=145円で想定。

# 2026年3月期 通期予想 製品商品売上

内訳（単位：億円） 製品商品売上（国内）	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
オプジーボ点滴静注	1,203	<u>1,200</u>	▲3	▲0.3%
フォシーガ錠	896	<u>800</u>	▲96	▲10.7%
オレンシア皮下注	266	<u>280</u>	14	5.2%
グラクティブ錠	183	<u>120</u>	▲63	▲34.6%
ベレキシブル錠	105	<u>110</u>	5	4.4%
オンジェンティス錠	76	<u>90</u>	14	17.8%
カイプロリス点滴静注用	86	<u>90</u>	4	4.6%
パーサビブ静注透析用	84	<u>90</u>	6	6.7%
内訳（億円） 製品商品売上（海外）	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
オプジーボ	131	<u>135</u>	4	2.9%
キンロック	255	<u>360</u>	105	41.2%
ロンビムザ	—	<u>80</u>	—	—

・国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。また、海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

# 2026年3月期 通期予想（フル/対前期比）

通期の業績につきましては、2025年10月30日に公表した業績予想から変更はありません。

（単位：億円）	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	増減率
売上収益	4,869	<u>4,900</u>	31	0.6%
売上原価	1,479	<u>1,350</u>	▲129	▲8.8%
研究開発費	1,499	<u>1,500</u>	1	0.1%
販売費及び一般管理費	1,257	<u>1,200</u>	▲57	▲4.5%
営業利益	597	<u>850</u>	253	42.3%
税引前利益	593	<u>850</u>	257	43.3%
法人税等	92	<u>180</u>	88	96.5%
当期利益 （親会社の所有者帰属）	500	<u>670</u>	169	33.8%

## 増減内訳

売上原価 -129億円 (-8.8%)

### 主な要因

- フォシーガ販売マイルストンの計上に伴う反動減

研究開発費 +1億円 (+0.1%)

### 主な要因

- デサイフェラ社に係る費用(9か月分から12か月分へ)
- Ionis社から導入したsapablursenに係る費用
- 開発化合物の減損損失計上に伴う反動減

販売費および一般管理費 -57億円 (-4.5%)

### 主な要因

- デサイフェラ社の販管費の増加(9か月分から12か月分へ)
- 経費効率化の推進

\* 業績予想における下期の為替レートは、1ドル=145円で想定。

下期の為替感応度は1円の円安で売上収益が7億円増加、営業利益が2億円増加を想定しています。